

バーコードタッチリーダ (FMV-BCR212) 取扱説明書

このたびは、弊社のバーコードタッチリーダ (FMV-BCR212) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、バーコードタッチリーダ (以降、本製品) の正しい取り扱い方法を理解していただくために書かれています。本製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
また、本書は、お読みになったあとも大切に保管していただきますよう、お願い申し上げます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

■本製品のハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など
富士通株式会社

安全上のご注意

安全にお使いいただくために

- このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
- 本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。
- 特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告



- 万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体のケーブルをプラグから抜いてください。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品をプラグから抜いてください。その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、本製品をコネクタから抜いてください。その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- コネクタに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。火災・感電の原因となります。
- 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。火災の原因となります。

⚠ 注意



- 本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。
- 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。感電・火災の原因となることがあります。



- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。感電・火災の原因となります。修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。



- 本製品の開口部を布でおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもり、カバーが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。
- 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。
- 本製品のケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりするとケーブルが破損して火災の原因となることがあります。
- 本製品のコネクタを抜くときはケーブルを引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、芯線が露出したり断線して、火災の原因となることがあります。
- 本製品を振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本製品で、肩をたたいたり、ケーブルを持って振り回さないでください。けがをしたり、故障の原因となることがあります。
- ペンジン、シンナーで拭いたり、防虫剤をかけないでください。ひび割れ、引火の原因となることがあります。

R100
富士通ハードウェア修理相談センター

454893-2191

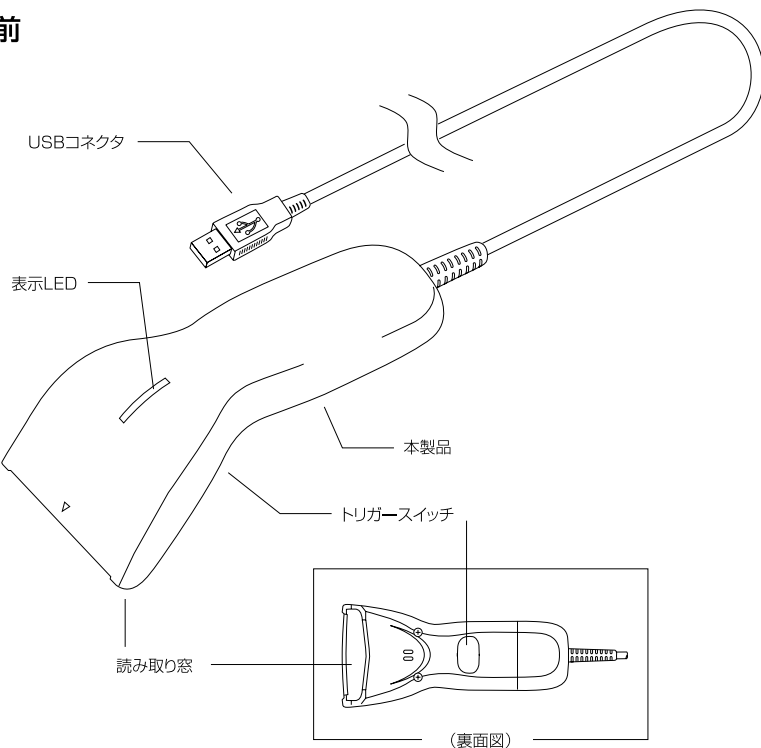
1. 梱包物の確認

箱の中には下図のものが収納されています。すべてそろっていることを確認してください。

バーコードリーダ (1個)	取扱説明書 (本書) 保証書 バーコード設定プレート
	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">取扱説明書 (本書)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保証書</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">バーコード設定プレート</div> </div>

万が一足りないものがございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

2. 各部の名前



3. 動作環境

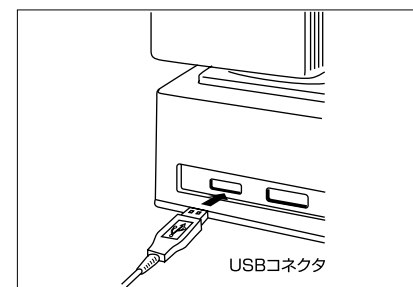
本製品は、次のシステムおよび環境でご使用になれます。

対応OS: Windows Vista™
Microsoft® Windows® XP
Microsoft® Windows® 2000
Microsoft® Windows® ME
Microsoft® Windows® 98

対応PC: 富士通FMVシリーズ
対象機種および詳細は、富士通製品情報ページ内の「システム構成図」
(<http://www.fmvworld.net/biz/fmv/product/syskou/>)をご覧ください。

4. 接続

バーコードリーダがパソコンに接続されていないことを確認し、パソコンの電源を入れておきます。パソコンが起動したら、バーコードリーダのUSBコネクタをパソコンのUSBコネクタに接続します。



コネクタは接続する向きが決まっています。ご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧の上、正しく接続してください。

バーコードリーダが、プラグアンドプレイ機能によって検出されます。続いてドライバがインストールされます。

◆留意事項

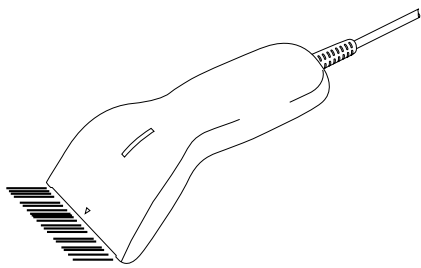
パソコンのUSB機器の認識および削除に数秒から10秒程度かかる場合があります。従いまして、USBコネクタの抜き差しは10秒以上の間隔をあけて行ってください。パソコンの電源がONの状態でもUSBコネクタの抜き差しは可能です。ただし、パソコンがスタンバイ (サスペンド) 中には、USBコネクタの抜き差しは行わないでください。バーコードリーダの接続処理中に他のUSB機器の着脱を行わないでください。

5.操作方法

(1)操作方法

下記の手順に従いバーコードを読み取ってください。

- ①読み取り窓の位置を下図のようにしてバーコードに近づけます。



- ②バーコードリーダの握り部の裏側にあるトリガースイッチを押してください。

- ③バーコードを自動的に読み取ります。

ブザー音と表示LEDにより読み取りの完了を確認してください。

- ・正常読み取り時：ブザー短音鳴動(ピッ)、表示LED緑色点灯
- ・読み取りエラー時：ブザー長音鳴動(ピーッ)、表示LED赤色点灯

(2)読み取りについての注意(オートオフモード時)

- ・トリガースイッチを一度押すと照明用LEDが点灯し読み取り可能状態になります。バーコードの読み取りを完了すると、読み取り待機状態に戻ります。
※トリガースイッチを押した後、バーコードを読み取らせずに約5秒間が経過した場合は自動的に読み取り待機状態に戻ります。
- ・直射日光のもとや非常に明るい場所では読み取りできないことがあります。
- ・バーコードは左右逆向きにしても読み取れます。
- ・バーコードラベルはできるだけ平らにしてください。また、汚れているラベルは、きれいにしてください。
※感圧紙を使ったバーコードやコピー機で複写したバーコードラベルは読み取り性能低下の原因になることがありますのでご注意ください。

(3)使用上のご注意

- ・バーコード読み取り中にはケーブルを抜かないでください。
バーコード読み取り中にケーブルを抜いてしまった場合は、パソコンを再起動してから、読み取りを実行してください。
- ・ハブ接続をする場合、USBでは5段までの直列接続ができますが、実際の運用では2段までの直列接続でご使用になることを推奨します。

(4)清掃について

読み取り窓は常にきれいな状態でご使用ください。
なお清掃の際には乾いた布で拭くようにしてください。
水および水性の溶剤やアルコールやシンナーなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。
※内部保守の必要はありませんので、決して分解をしないでください。

7.バーコード設定プレートの説明

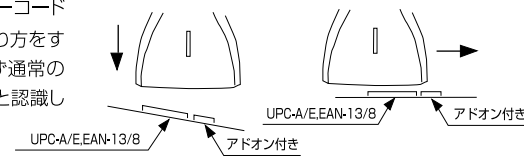
- ・C/D有で読み取る …… 所定のチェックディジットの計算でチェックを行い、正しい場合のみ読み取ります。
- ・C/D無で読み取る …… チェックディジットもデータとして読み取ります。従ってチェックディジットは確かめません。
- ・NW-7スタート・ストップチェック …… チェックする場合、スタート・ストップキャラクタが同じ文字の時のみ読み取ります。
- ・英文字モード …… 本体の表示文字モードは英大、英小のいずれかに限られます。
- ・改行キー …… 読み取ったデータの最後に終端コードを付加するか否かの選択を行います。
- ・出力バーコード種別 …… 出力する場合、データの後にバーコードの種別コード(文字)を付加します。
JAN-8, EAN-8=1
JAN-13, EAN-13=2
UPC/A=3, UPC/E=4
CODE-39=5, NW-7=6
STF=7, ITF=8
CODE-93=9, CODE-128=A
※UPC/EANアドオン付きのコードマークはUPC/EANとそれぞれ同一です。
- ・連続読み取りモード …… 電源投入後、常時読み取り可能状態となり、トリガースイッチの操作は不要です。
ただし、読み取り窓にバーコードを当てたまま電源を投入した場合、そのバーコードを読み取ることはできません。
この場合、いったん、バーコードからバーコードリーダを遠ざけた後、再度、バーコードに近づけると読み取ることができます。
- ・出力モード …… キーライクモードの場合、キーボードと同じ動作で出力します。
※専用モードの場合、キーライクデータの前にバーコードデータ抽出用ヘッダが付加された形式で動作します。
- ・初期化 …… 読み取りコード設定、機能設定を☆印の状態に戻します。
- ※テストバーコード …… 設定内容の確認にご利用ください。

UPC/EANアドオン付きの読み取りに関する留意事項

バーコード設定プレートで、UPC/EANアドオン付きを「読み取る」設定にした場合、下記についてご注意ください。

(1)読み取り方について

UPC/EANアドオン付きコードを読ませるときは、下図に示すように、斜めや横にずらしてバーコードに当てないでください。このような読み取り方をすると、アドオン付きコード部分を認識できず通常のUPC-A, UPC-E, EAN-13, EAN-8コードと認識してしまうことがあります。



(2)読み取りスピードについて

UPC-A, UPC-E, EAN-13, EAN-8とUPC/EANアドオン付きコードが共に読み取り許可されているときは、バーコードリーダはアドオン付きコードの有無をチェックしてからデータを転送します。従って、UPC-A, UPC-E, EAN-13, EAN-8とUPC/EANアドオン付きコードが共に読み取り許可されている場合は、UPC-A, UPC-E, EAN-13, EAN-8のみ許可されている場合と比較して、通常のUPC-A, UPC-E, EAN-13, EAN-8の読み取りスピードはこのアドオンの有無をチェックする時間だけ遅くなります。それ以外の場合の読み取りスピードは、読み取り許可されたコードの種類及びその数、バーコードの桁数、バーコードの印刷状態などにより異なります。

6.設定手順

本製品はバーコードの種類や各機能等の設定を付属のバーコード設定プレートのメニューを読み取ることで選択することができます。
初期設定以外の機能で使用する場合は、電源投入後に付属のバーコード設定プレートのメニューを読み取り、設定を行ってください。

1. 設定開始コードを読み取ってください。
読み取り確認LEDが赤色点灯します。(断続ブザー3回鳴動)
2. 設定コードを読み取ってください。
読み取り確認LEDが約1秒間 赤から緑に変わります。(ブザー1回鳴動)
3. 設定終了コードを読み取ってください。
読み取り確認LEDが消灯します。(断続ブザー3回鳴動)
4. 設定した動作になります。

※全ての設定を初期設定☆印に戻すには下記の手順でバーコード設定プレートのメニューを読み取ってください。

設定開始→初期化→設定終了

※バーコードメニュー設定中は3分以内に次のバーコードを読み取ってください。
3分を過ぎるとスキャナは長音ブザーを鳴らし全てのメニュー設定をキャンセルし自動的に設定前の状態に戻ります。

本装置動作中は、パソコンをスタンバイまたは休止状態に移行させる操作をしないでください。
上記操作を行った場合、正常な動作が保証されなくなるおそれがあります。

8.仕様

項目	仕様
バーコードの種類	JAN, EAN, UPC, NW-7, CODE-39, Interleaved 2 of 5, CODE-93 Standard 2 of 5, CODE-128, EAN-128, UPC/EANアドオン付き
バーコードの長さ	61mm以下(左右マージンを含む)
バーコードの桁数/倍率	NW-7:スタート/ストップコードを含み最大32桁 CODE-39:スタート/ストップコードを除き最大25桁 Interleaved 2 of 5:スタート/ストップコードを除き最大48桁 CODE-93:スタート/ストップコードを除き最大37桁 Standard 2 of 5:スタート/ストップコードを除き最大28桁 CODE-128, EAN-128:スタート/ストップコードを除き最大30桁
PCS値	0.45以上
分解能	0.15mm
読み取り角度傾斜	縦方向:0~20° 横方向:0~3°
節電機能	読み取りスイッチ(トリガースイッチ)
読み取り確認方法	表示LED(赤、緑)、ブザー
電源	パソコン本体より供給(DC5V)
消費電流	100mA以下
寸法・重量	72(W)×160(D)×60(H)mm ケーブル長:約2.0m 約190g(ケーブル含む)
温度条件	0~40°C
湿度条件	10~90%RH(結露してはならない)

9.アフターサービス

故障・修理に関するお問合せ先

法人のお客様

富士通ハードウェア修理相談センター

通話料 無料 **0120-422-297**

お問合せ時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

個人のお客様

富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口

通話料 無料 **0120-950-222**

お問合せ時間 24時間・365日対応

技術的なご質問、ご相談のお問合せ先

富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口

通話料 無料 **0120-950-222**

お問合せ時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

■保証書について

・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料修理となります。ご注意ください。(詳しくは、保証書をご覧ください)
・本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造終了後5年間です。

・本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
・本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利については、弊社はその責を負いません。
・無断転載を禁じます。
・保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

- ・おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・システムメンテナンスの為、サポートを休止させていただきます場合があります。

バーコードタッチリーダ(FMV-BCR212)取扱説明書
B5FY-6431-02-00
発行日 2007年3月 発行責任 富士通株式会社
Printed in Japan
All Rights Reserved, Copyright © FUJITSU LIMITED 2006, 2007